



基本理念
 私達は、医療に携わる人間として、情熱と誇りと博愛の心を持ち、意欲ある医療活動を展開していきます。
 独立行政法人 国立病院機構高知病院

編集●独立行政法人国立病院機構高知病院広報誌編集委員会／代表●大串文隆／住所●高知市朝倉西町1丁目2番25号／電話 088-844-3111／FAX 088-843-6385

新年度を迎えて



NHO高知病院 院長
大串 文隆

今年も新しい仲間を迎え平成25年度がスタートしました。この季節は人事異動があり、一緒に仕事していたメンバーが去り寂しい時期ではありますが、逆に新しいメンバーに入れ替わり病院に活気がでくる時期でもあります。今年度は転入の職員を含め71名の新しいメンバーを迎えました。高知病院の大きな目標は「地域に信頼される病院」になることです。地域に信頼される病院とは、地域の住民の人々、患者さん、地域の医療者の皆さんに信頼される病院であり、新しい職員を加えたメンバーで今まで以上に信頼を得ることができる病院にしていきたいと思っています。信頼される病院になるためには、良質で安全な医療の提供は当然のことですが、接遇、丁寧な説明など患者さんへの適切な対応も重要です。また、診断治療を向上させるには新しい機器の導入も大切で、このためには、経営基盤を確立する必要があります。昨年度は職員の皆さんの活躍により全国6ブロック内でも成績が良いとされている中国四国ブロック管内において上位にランクされる成績を残すことができました。職員の皆さん、ご苦労様でした。今年度も皆さんと一緒に昨年度同様優秀な成績をあげたいと思っていますので宜しくお願いします。

しかし、病院を取りまく環境は大きく変化しております。我が国は超高齢化社会を迎えました。特に高知県は全国に先駆けて高齢化が進んでおり高知病院が対象とする患者さんも高齢者の割合が多くなってきております。一方、医療提供体制の再整備が進められており、機能分化による病院の類型化、急性期医療のみならず、高齢化に伴う慢性期医療の重要性が指摘されています。各医療機関はこの様な医療環境の中で診療の質と経営の質を向上させるよう努めています。私達の病院も他の医療機関と同じ

ように、このような環境の変化に対応しつつ、良質で安全な医療を提供していかなければなりません。高知病院も国立時代には国からの予算補助がありましたが、独立行政法人になってからは、独立採算性となり、その上国時代の負債の返済も義務付けられており、厳しい経営状態は今後も継続していきます。病院機能を充実させるには医療資源への投資が重要ですが、そのためには病院経営の質を上げていかなければなりません。旧態依然とした病院経営では成り立たず、民間の工夫を取り入れた経営が必要となります。ただ、経営の改善だけではなく、私達の病院は独立行政法人になったとはいえ、国の医療を支える病院群です。結核や重症心身障害児（者）の医療などの国の政策に沿った医療を支えていかなければなりませんし、それが機構病院の使命とも考えています。一般医療から政策医療まで幅広く国民に医療を提供できる病院としてこれからも発展させていきたいと思っています。病院機能を向上させるため、今年度は医療機器の整備に特に投資をしていく予定です。放射線治療装置の更新については、高度の機能を有する機種を選定し現在導入途中です。この夏には稼働予定であり、高知県の医療に貢献できるものと思っています。放射線治療装置の他にも、各診療科から要望された機器もできるだけ導入したいと考えています。

高知病院の今年度の方向性について医療の面から述べましたが、もう一つの大きな目標は高知病院が職員にとって働きがいのある病院、勤務してよかったと思える病院になることです。医療はボランティアの部分も多くあり、病院での仕事は忙しいと思いますが、職員一人一人が目標を持って充実した生活を送り、高知病院がますます活性化しすばらしい病院になることを願っております。

新医師紹介



婦人科医長 滝川 稚也

4月1日より勤務させていただいております。滝川稚也（たきかわ まさや）と申します。

女性の幸せで、健康な生活について、医療だけでなく教育あるいは社会的な面からサポートさせていただいております。事例としては、産婦人科分野では思春期・更年期の内分泌、顕微授精を含む不妊治療、婦人科医による乳がん検診の分野を研究・実践してまいりました。教育の分野では、スクールカウンセラーに必要な教育カウンセラー、ガイダンスカウンセラーの資格を有しており教職員の方に女性専門医の立場から資格取得のためにサイコエジュケーションの分野を指導してまいりました。医師会においては女性医師の就労環境の改善、キャリア継続のため男女共同参画委員を、また、徳島ではいくつかの団体を通じてドメスティックバイオレンス（DV）や性暴力被害を受けた女性の支援なども行っていました。被害者の支援では被害直後の直接支援だけでなく、支援物資、支援者の募集、さらに裁判の意見書作成などの間接支援も行っていました。

私自身は、土佐弁を操れない土佐高出身者で、高知にUターンとなります。今回は活動の拠点を高知市西部に据え、今回の転勤に伴い今一度軸足である産婦人科で、福家先生のご指導と、小林先生の御協力により当院での産婦人科業務を充実させてまいりたいと考えておりますので、皆様よろしく願いいたします。



消化器科医師 三井 康裕

4月1日より消化器科に赴任して参りました三井康裕（みつい やすひろ）と申します。高校卒業までは香川県で過ごしており、その後、徳島大学を卒業しました。医師としては徳島県立中央病院にて初期臨床研修を修了し、その後、徳島大学消化器内科に入局し、2年ほど同院にて赴任した後に当院へやって参りました。

前勤務地では消化器疾患全般の診療を学びながら内視鏡治療、化学療法などを行っており各種学会にも参加しながら研鑽を深めておりました。徳島大学在学中は弓道部に所属しており、高知県へは遠征で度々訪れておりました。今回、当院で勤務することとなり高知県をより深く知ることができればと考えております。また、休日はテニス、ギターと我が家の片隅で眠っているアイテムを駆使してリフレッシュできればと思っています。

若輩者であり、まだまだ未熟ではありますが、患者様が少しでも豊かな生活を送ることができるよう努めてまいります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



呼吸器外科医師 澤田 徹

本年4月1日より、当院外科・呼吸器外科勤務となりました澤田徹（さわだ とおる）です。出身は徳島県徳島市です。

平成18年に川崎医科大学を卒業し、徳島大学病院と徳島県立中央病院でそれぞれ1年間初期研修を行いました。その後は平成20年より徳島大学胸部・内分泌・腫瘍外科に入局しました。徳島大学病院で3年目を過ごしたあとは徳島、沖縄、高知の市中病院を転々としています。高知には平成24年4月から生活しておりますが、気候も暖かく、また食事も美味しく、快適に過ごしております。

仕事の面では、今年で医師8年目を迎えましたが、まだまだ未熟であります。国立病院機構高知病院でも外科・呼吸器外科の経験を積み、できる限り皆様に貢献できればと思います。

今後、周囲の皆様にご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。



呼吸器科レジデント 香川 耕造

4月1日より当院に勤務させていただいている香川耕造（かがわ こうぞう）です。

徳島県板野郡藍住町の出身です。平成22年福岡大学を卒業し、研修は福岡大学筑紫病院、福岡大学病院で1年ずつ研修し、徳島大学呼吸器膠原病内科に入局しました。1年間徳島大学で勤務し現在に至ります。私はテレビ番組「吉田類の酒場放浪記」が大

好きで、その吉田類さんの地元高知に来られたことを嬉しく思います。類さんほど酒場を放浪できませんが……。

国立病院機構高知病院は呼吸器に関して臨床や専門性、また研究にも凄く力を入れており、先輩の先生方もとても親切に教えてくださり、ここで働けることを大変光栄に思っております。医師としてまだまだ未熟な部分もあり迷惑をかけるかと思いますが、精一杯頑張りたいと思います。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



消化器科レジデント 影本 開三

はじめまして。この度4月より消化器内科に赴任してまいりました影本開三（かげもと かいぞう）と申します。出身は徳島県の池田町です。徳島大学を卒業し、札幌斗南病院、徳島大学病院で研修を終え、今年より医師3年目となります。高知というと明るい県民性のイメージがあり、個人的には日本酒やカツオが好きでしたので、大変楽しみにしておりました。病院周辺の飲み屋を現在開拓中ですので、お勧めがあれば教えていただければ幸いです。趣味は体を動かすこと、特に野球が好きで、大学でも準硬式野球部に所属していました。早速バッティングセンターに出発しています。医師としてはまだまだ未熟者であり、システム上の事も含め、皆様に大変ご迷惑をおかけすると思いますが、精一杯努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



臨床研修医 二里 志乃

はじめまして。初期研修医の二里志乃（にり しの）と申します。1988年生まれの24歳（ハンカチ世代）です！この春、高知大学医学部を卒業し、当院で1年目研修医として勤務させて頂いております。

当院を初期研修の場として選ばせて頂いた理由は主に二つあります。一つ目は当院は科の垣根が少なく、内科外科問わず様々な症例を幅広く学べると思ったからです。二つ目は、少し専門的になってしまっていますが、当院は呼吸器疾患の症例が多いことです。私は呼吸器疾患に興味を持っているのでその点では専門的な疾患も経験したいと思い、当院での研修を選びました。

研修開始後には、さっそく呼吸器科から回らせて頂いて、患者さんの診療にあたっております。

右も左も分からず、まわりの方々に迷惑をかけてばかりですが、先生方、コメディカルの方々、そして患者さんに助けられ、本当にゆっくりですが日々成長していると感じています。

プライベートな話になりますが、大学時代はオーケストラと卓球部に所属し部活ばかりをやっていました。そのおかげか健康にはとても自信があります！そして最近の趣味はサッカー観戦で休日は必ず観に行っています。

これからたくさんのご迷惑をおかけしますが、やる気は人一倍あるのでご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

新任職員紹介



薬剤科長 林 武文

4月1日付で薬剤科長として赴任しました林武文（はやし たけふみ）です。当院には平成8年10月～平成13年3月まで勤務していました。新病院（平成12年10月開院）の移転時期でオーダリング導入もあり、大変忙しい日々でしたが、充実した有意義な時間だ

ったと思っています。家族を連れての初めての転勤で、高知の大自然の中、楽しい時期（家族はさらに2年）を過ごさせてもらいました。今回は単身赴任（実家は松山）ですので、健康に留意しながらも大好きなお酒を堪能したいと思っております。

薬剤科業務は調剤中心からチーム医療、医療安全、薬剤管理指導と患者中心の業務へと変わってきました。薬の専門家として患者のために何ができるか、考えながら取り組んで行きたいと思っています。今後もますますチーム医療が重要になってくるでしょう。

半年間、薬剤科長不在で迷惑をおかけしましたが、皆様と連携を取りながら、さらに高知病院が発展していくよう全力で取り組んで行きたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



副看護部長 樋口 智津

この度、4月1日付で副看護部長として香川小児病院から赴任してまいりました樋口智津（ひぐち ちづ）と申します。今回、病院広報誌「ほげい船」での自己紹介の機会をいただき大変感謝しております。

私の出身地は愛媛です。今回の転勤では香川県からたくさんのトンネルを抜けて高知へ引っ越してまいりました。その際には、改めて高知の川や海のスケールの大きさに圧倒されつつ、風景だけでなく雨が降る時の力強さにも驚き、急いで災害バックを備えました。

前任地の香川小児病院では、重症心身障害児（者）病棟で1年、ICU含む小児一般急性期病棟で5年看護師長を経験した後、医療安全管理係長を2年経験し、現在に至っています。また、私自身「看護は信頼関係」が大切であると考え、仕事を実践する上ではコミュニケーションを十分に持つことを常に心がけてまいりました。

当院でも小児分野や医療安全の分野での経験を活かしながら皆様方と早く信頼関係を築き、副看護部長としての役割を果たすことができればと考えています。

副看護部長が2名になったところにまいりましたので、「副看護部長が2名になったのに？」とならないようにしなければとプレッシャーを感じておりますが、高知病院の基本理念にある「情熱と誇りと博愛の心」を持ち、何事にも前向きに臨みたいと考えておりますので、ご指導よろしくお願いいたします。



診療放射線技師長 嶋野 直也

4月1日付で診療放射線技師長として赴任しました嶋野直也（はとの なおや）です。

生まれは広島県の因島という瀬戸内海の島育ちです。国立岩国病院に採用され長く勤務した後に、呉医療センターで心臓CTを、広島西医療センター（広島県大竹市）ではPET-CTの立ち上げをそれぞれ経験させていただきました。今回県西部に「長州」を配する山口県岩国から、「土佐」高知に縁あってお世話になることになり、立派な病院と放射線科の小松先生、塩田先生をはじめ頼もしいスタッフ一同に迎えられ、身の引き締まる思いで一步を踏み出させ

ていただいております。

今年の放射線科はリニアックと血管撮影装置の更新稼働を予定しています。双方とも当院当科にとって核となるべく最新鋭の機器です。ぜひ期待していただきたいです。新鋭機器の最大限の有効利用をめざし日々努力して参ります。

私が大切にしているのは、人と人との和とチャレンジ精神です。私自身は微力ですが放射線科スタッフと力を集結し、皆さまに愛され、頼りにされる放射線科をめざして頑張っていきます。どうぞよろしくお願い致します。



栄養管理室長 柳谷 憲秀

4月1日付で栄養管理室長として赴任しました柳谷憲秀（やなぎだに のりひで）と申します。

私は、平成11年4月に国立下関病院（現関門医療センター）で栄養士人生をスタートし、おかげさまで今年15年目を迎え、鳥取病院（現鳥取医療センター）、松江病院（現松江医療センター）、邑久光明園、香川小児病院と経て、この高知病院が6施設目（6県目）となります。

高知病院での勤務は初めてですが、前任地の香川小児病院時代には、高知病院との合同宿泊研修に私も参加し、当時の職員の方々と交流をはかることができました。

また、今まで勤務してきた施設でお世話になった方々が、私が思った以上に高知病院には多く在籍し、赴任時にはいろいろと声をかけていただいたことで、どこか懐かしさも感じております。

そのような良いご縁もあり、この度勤務させていただくことはとても誇りに思うと同時に、身の引き締まる思いです。

地域に信頼される病院となるという当院の目標に向かって、病院栄養部門として、また管理栄養士の一人として、患者さんのために何が出来るのかを日々考え、実践できるよう、栄養スタッフをはじめ、関係部門との連携をはかりながら、微力ではありますが日々精進していきたいと思っておりますので、皆様ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

高知アレルギーフォーラム2013

アレルギー研究室室長 小倉由紀子



2013年2月17日(日)、当院3階教室1で、高知アレルギーフォーラム2013が開かれました。今回は、特に、昨年12月20日、学校給食で、小学5年生の女児が、チーズ入りチヂミを誤食してアナフィラキシーショックで死亡した事故がありましたので、食物アレルギーについての理解を深めていただけるように、給食関係の方や、保母や教師の皆さんなどにも、お知らせを配布しました。食物アレルギーの子どもを持つ御家族だけでなく、南国市教育委員会の方をはじめ、小学校8校の学校関係者、フレンド幼稚園、県内各所の保育園6園の保母さんや給食関係者にもご参加いただき、132名の参加がありました。

日本アレルギー協会四国支部高知県担当代表の大串院長の開会の挨拶の後、当院耳鼻咽喉科近藤英司先生の「花粉症」についての講演、高知大学医学部血液・呼吸器内科の宮本真太郎先生の「ぜんそく」についての講演、最後に、当院小児科、小倉英郎先生の「アトピー性皮膚炎と食物アレルギーの最新情報」についての講演がありました。アトピー性皮膚炎・蕁麻疹と食物アレルギーの関係、覆面型食物アレルギー、アトピー性皮膚炎を治すには微量までの除去が必要、経口免疫療法で減感作状態になっても真の耐性獲得とは異なる、などデータを提示しての説明

があり、昨年12月20日の誤食事故の詳細、誤食予防策、誤食後のエピペン使用方法などになると、会場がしーんと静まりかえっていました。質疑応答は、現場で遭遇するであろう抗ヒスタミン剤の使用方法や、エピペン使用のタイミング、そして救急搬送のことなど、参考になるものが多かったのですが、「食物のRASTが6の子どもは、全てお弁当持参させたほうが良いのでしょうか？」という質問に、アレルギーが強くても、いろいろ注意すれば、給食での対応は可能でしょうと答えていました。事故があったから、給食での対応はできないという方向に進むのではなく、如何に安全に除去食給食を提供するか、事故後にどう対応すればいいのかということを考える必要があると思います。

会場の外には、アレルギー用食品や手作りおやつがたくさん展示され、アレルギーの子どものお土産用に、お持ち帰り自由でした。辻安全食品の社長も来られていて、いつもは高価なアレルギー用食品を5点1000円で、叩き売り(?)、フォアベルグのロボット掃除機、リチウム電池のコードレスハンディ掃除機の展示もあり、講演終了後も、人だかりができていました。



平成25年度新卒新採用者の 就職前研修について



教育担当看護師長 岡林 裕恵

4月から一緒に働く仲間との交流を目的に2日間の就職前研修を行いました。看護師国家試験合格発表の翌日です。やや緊張した面持ちでしたが、新卒新採用者23名全員が朝から元気に参加することができました。良い緊張感は大切ですが、緊張しすぎては逆効果です。まずは副看護師長が企画した自己紹介を兼ねたアイスブレイクから開始しました。新人同士が横のつながりを持つことで安心感や仲間意識を持てるように、また、これから働く職場の上司と話す機会を持つことで不安の軽減にもつなげたいと考えています。

基本的な看護技術に関しては、それぞれの研修項目ごとに講義やグループでの実技演習を通し、看護基礎教育で学習した看護技術を想起できる内容にしています。新卒新採用者23名中18名が当院の附属看護学校の卒業生です。ほとんど全員が卒業後も自主的に学校で看護技術の練習をしていたそうです。それでも自分が実施する順番になると「緊張と不安か

ら物品の名称が分からなくなった」り、「焦りや不安からたくさん失敗した」と話していましたが、「学校で習ったことが活かされたとき嬉しく思った」という発言も聞かれました。

今後新卒新採用者を受け入れる現場では、初めて行う看護技術は“見学→見守り→1人で実施”の段階を追った指導を行っていきます。

新しく作成した看護師募集案内のメッセージは“私の夢 看護の夢 未来の私がここに在る”です。看護師になるという夢が叶った23名と、高知病院で一緒に働く仲間として次の夢をかなえていけるよう、一人ひとりの目標を達成できるよう支援を続けていきたいと思っています。



外 来待合室に優先座席が出来ました!!



副看護師長 濱口かおり

外来に優先座席が出来たことを皆さんご存知ですか？

聴覚障害・視覚障害の患者さんが外来に受診に来られても、患者さんの障害に応じた細やかな対応が出来ておらず、患者さんにご不便な思いをさせていました。そのことについて患者さんから「困っている」と投書がありました。そこで、患者さんから頂いたご意見を“宝”と捉え、外来職員全員で対応について検討し試行錯誤した結果、優先座席を設置することにしました。

優先座席の設置場所は、各外来のナースステーション前、1階エントランスホール、検査・放射線科待合いホールの6ヵ所です。

 専門看護コース公開講座

専門コース開設について

がん性疼痛看護認定看護師 長浦 英世



当院看護部では平成23年度より「専門分野における教育を行うことで、看護の質の向上のために各部署でコアとなって根拠に基づいた看護実践を推進する役割を担う指導者を育成する。」との目的で専門看護コースを開設しています。平成24年度は院内にとどまらず、他病院、他施設からの受講者をお招きすることができ、今年度で当コースも3年目を迎えることができました。

私の担当する専門看護コースは「がん性疼痛看護」分野です。がんの痛みといえば、治らないものであるとの認識はいまだ深く、痛みに対してあきらめている患者さん、また、痛みを我慢することが当たり前であると思っておられる患者さんが多い現状がいまだあります。

「痛み」は主観的なものであるため、その人の感じている痛みをより理解するためには、根拠を持つ

たアセスメントが必須であると考えます。当コースでは、痛みのメカニズムからアセスメント方法、医療用麻薬の知識などをわかりやすくご説明させていただきます。

昨年は他施設からの受講者の方と意見交換などでもでき、私自身も大変刺激を受け勉強させていただく場面も多々ありました。

当専門看護コースは感染看護コース、緩和ケアコース、がん化学療法コースも開設しております。



優先座席には、聴覚障害の耳マーク、盲人の為の国際シンボルマークがついています。

このマークは、電子カルテ運用になっても“患者基本タブ”の“アイコン”に使用されていますので、職員の皆さんも共通の情報として知っておいてください。

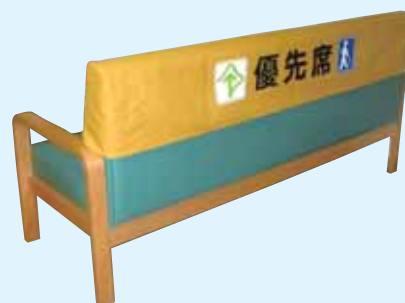
地域の患者さんが来院された時、気持ち良く受診することが出来る病院をめざして頑張っていきます!!



耳マーク



盲人の為の国際シンボルマーク



電子カルテの導入

ー操作研修・リハーサルを実施しましたー

副院長 小倉 英郎



高知病院では電子カルテの使用開始を平成25年4月29日（外来は翌30日）と定め、各種ワーキング、検討会を重ねてきました。そして机上の想定だけでは洗い出せない問題点を確認する為のリハーサルを3月23日、4月6日の2回実施しました。

1回目のリハーサルでは主に外来での動線の確認を目的とし、2階内科系の外来にリハーサル用のナースステーション、内科系診察室、外科系診察室、処置室を設けました。2回目のリハーサルでは1回目で指摘された問題点の見直し、入院時における指示出し、指示受けの確認を目的とし、1回目に用意した診察室に加えリハーサル用の病棟ナースステーションを3つ設けました。また、各コメディカル部門は実際の受付を使用し、事務職員が模擬患者となって移動して運用面の確認を行いました。細かなトラブルや運用面で更に検討が必要な事項が発生しましたが、用意していたリハーサル用の模擬患者シナリオ（1回目 外来23名、2回目 外来14名 入院14名）を9時から12時までという限られた時間内で終了させることができました。

土曜日にもかかわらずリハーサルに協力して頂いた医師、看護師、コメディカル、事務の皆様のおかげで無事に実施することができました。また、リハーサルでお疲れにもかかわらず、その後の報告会では非常に熱心なご討論を頂きました。現在全ての事案が問題解決に向かって進捗しております。電子カルテ導入準備は最終段階に入りましたが、今後はそのより有用な運用に向けて全職員のご協力をお願いします。



感染管理室だより

感染管理認定看護師 原 昭恵



感染対策は「手洗いに始まり手洗いに終わる」といわれています。最近では、病院内だけでなく公共施設の入り口など様々な場所でアルコール手指消毒薬を目にします。アルコール手指消毒薬は簡易に使用できますが、ただ手に塗るだけでは十分ではありません。15秒以上かけて手にすりこみアルコールを完全に乾燥させることで、消毒効果が得られます。少量のアルコール製剤で消毒した気分になったりせず、十分な量を正しく使って感染を予防しましょう。

ただし、目に見える汚れがある場合は、まず石けんと流水で手を洗ってからアルコール製剤を使いましょう。ノロウイルスなどはアルコールが効きにくいといわれているため、石けんと流水の手洗いが基本です。

- 1 15秒以内に乾燥しない量を手にとります。



ポイント

ノズルを下まで押しきるように

- 2 最初に両手の指先を消毒します。



ポイント

アルコールが乾く前に、よく使う指先を十分消毒しましょう。

- 3 手のひらをすり合わせます。



- 4 手の甲にすり込みます。



- 5 指の間は根本まですり込みます。



- 6 親指は反対の手で包みこむようにしてねじります。



- 7 最後に手首にすり込み完全に乾燥させます。



医療安全管理室だより

—電子カルテ導入に向けて—



医療安全管理係長 山本 三恵

平成25年4月1日から医療安全管理係長の任につきました山本です。よろしくお願いします。医療安全に関しては、研修には行かせていただいたものの、まだまだ未熟ですので、皆様にご迷惑をお掛けすると思いますが、温かい目で見守ってください。

当院は電子カルテ導入に向けて最終段階にはいっております。3月23日に外来部門の連携リハーサルと、4月6日には外来部門、病棟部門、放射線、リハビリ、検査課、栄養課などとの連携リハーサルを行いました。電子カルテ本格可動は4月29日と目前に迫っています。電子カルテ可動後の多種多様な問題点の改善に向けて、医療安全として他部門との連携、調整役としてがんばりたいと思います。また、皆様の医療安全に対する意識向上を図るための研修も、昨年に引き続き計

画していますので、研修へのご参加協力をよろしくお願いします。皆様と共に、安全で安心できる医療を患者さんに提供できるようにがんばりたいと思います。

下記の写真は4月6日に実施された電子カルテのリハーサルの写真です。どんな問題があるか、システムは順調に動くか、安全でより効果的な入力方法はないか等々、多数の職員が積極的に参加していました。



地域医療連携室だより

地域医療連携室主任医療相談員 看護師長 秋森 容子



4月から地域医療連携室に異動になりました秋森です。

今までは、地域医療連携室とは関連の少ない治験管理室で勤務していましたので、地域医療連携室での仕事は私にとって未知の領域です。

異動して間もない中で感じたことは、「地域に信頼される病院となる」という病院の目標の最前線で実働している部署であるということです。看護師、ソーシャルワーカー、事務それぞれが前方支援・後

方支援を行う専門集団として活動し、加えて高知病診連携フォーラムや地域医療連絡会の企画運営と高知県地域連携ネットワーク会会長病院とし

ての活動等、院内外に情報発信をしています。また、がん相談の連絡窓口として認定看護師の佐々木副師長、長浦副師長の活動をサポートしていく役割も重要であると考えています。

この地域医療連携室を立ち上げ、メンバーとともにシステムを構築した前任の長浦副看護師長の5年間の働きがここに身をおいて深く実感できます。

今後の私の目標としては、まずは医療相談員としての技能を修得することと地域医療連携室の円滑な運営ができることです。迅速かつスムーズに紹介患者様を受け入れることは、地域の施設に信頼される最低条件です。今後とも皆様のご支援をお願いします。

また、4月9日に当院で開催された高知県地域医療連携ネットワーク会で後方支援病院の医療相談員の方が「急性期の病院は患者様が次の施設に移ればそれで良しとするのではなく、患者様やご家族の意向を尊重したその先を考えた転医をして欲しい。」



と話されていました。今の私にとって高い目標ですが、患者様やご家族の自己決定を支えることができる退院支援・退院調整を目指していきたいと考えています。それには技能の習得は当然ですが、それができる環

境づくりが重要です。

今後、何かと助けていただくことも多いかと思いますがよろしくお願いします。

一手作りリーフレットのご紹介

国立病院機構高知病院と連携している医療機関です

医療法人光晴会
小原外科専門科胃腸科
院長 小原長生先生

多型上外科
外科 肛門科 胃腸科 内科 形成外科
皮膚科 泌尿器科 放射線科
リハビリテーション科 整形外科 美容外科



外来診療時間

午前 9:00~12:30
午後 12:30~18:00
休診日 日曜日 祝祭日 4曜午後 土曜午後

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○	○

高知県高知市十津川町3丁目3番15号
電話 0880-38-0108
Fax 0880-38-0108

アクセス
中津川の十字路を西へ200m



小原先生のご挨拶



消化器（特に大腸、肛門疾患）を専門とし、乳癌、甲状腺疾患の早期発見と検出に取り組んでいます。

私達は、医療に携わる人間として情熱と誇りと博愛の心を持ち意欲ある医療活動を展開しています

昨年度より、当地域医療連携室では、連携施設のリーフレットを作成しております。

地域医療連携室スタッフが、慣れないPCを駆使して作成した手作り感あふれるリーフレットです。その中から、一部ご紹介いたします。



リーフレットは外来に設置閲覧、広報誌に掲載、必要時患者さんに配布等させていただきます。地域医療連携室では、上記リーフレットにご賛同いただける施設を募集しております。下記連絡先までご一報下さい。

国立病院機構高知病院と連携している医療機関です

藤田クリニック
院長 藤田次郎先生

多型上外科
泌尿器科 人工透析



外来診療時間

午前 9:30~12:30
午後 14:00~18:00
休診日 日曜日 祝祭日

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○	○

高知市阿波2-23-35
電話 088-820-0001
Fax 088-824-3228

アクセス
上外環状道路の西側より徒歩1分



地域に密着した医療をめざして



お悩みに



私達は、医療に携わる人間として情熱と誇りと博愛の心を持ち意欲ある医療活動を展開しています

地域医療機関の皆様へ

患者さんのご紹介・現在入院中の患者さんの問い合わせ・リーフレットについて 等…

088-828-4465 地域医療連携室までご一報下さい。 平日 8:30~18:00まで対応いたします。

看護学校だより



挨拶



高知病院附属看護学校 教育主事 山田 円

4月1日付けで秋本教育主事の後任として岡山医療センター附属岡山看護助産学校より参りました山田円（やまだ まどか）です。着任後2週間が経ち、漸く私自身、学校の玄関に色とりどりに咲き誇る花に爽やかな季節を感じられるようになってきました。

私は、平成13年に教員として1年間在籍しておりました。11年ぶりとなる学校は、校舎も新しく立派になり、また当時担任していた教え子（教員2年目）と今度一緒に働くこととなり、時の流れを実感しています。

そして、4月9日には新入生42名を迎え入れることができました。本校を選択し入学した学

生の期待に添うべく、一人ひとりの持てる力を引き出し伸ばしていくことが大きな責務であると考えています。人を受け入れられる広い心、人を守る確かな知識と技術、自己に課せられた役割を引き受けられる責任感、周囲に対して感謝の気持ちを素直に表現できる力を持った“人”を育てていきたいです。できる限り学生の良いところをみることでできる姿勢を教職員皆で持ち続け、どんなに変化する時代の中でも、常に地域、社会、人々から求められる看護者を育成する学校として、努力していきたいと思ひます。これからもどうぞよろしくお願い致します。



卒業式



平成25年3月4日卒業式を行い、第48期生53名が旅立ちました。

卒業生全員が看護師国家試験に合格し、関係各位のご指導の賜と感謝しています。これから、それぞれの道を歩んでいくこととなりますが、NHO高知病院附属看護学校で学んだことを活かして頑張ってください。





予 餞 会

第50期生 小松 令奈、山田 茉耶

2月25日、予餞会が開催されました。予餞会とは、1年生と2年生の各グループが出し物を行い、3年生の皆さんへ感謝の気持ち

を伝え共に楽しむ会で、この日のために1・2年生はこっそり練習を続けてきました。

1年生の最初のグループは、ポールを使ったカッコいいダンスを披露してくれました。身体の柔らかさに3年生もびっくり！次のグループは「〇×クイズ」でした。少々難しい問題が多かったですが、連続正解者が続出!!全問正解の人にはお菓子のプレゼントがありました。次は罰ゲームつきの「ジェンカ」。3年生、2年生、1年生、先生方から選抜された人達が順番にジェンカを抜いていき、崩した人が罰ゲームBOXから罰ゲームが書いてある紙をひき、

そこに書いてある罰ゲームを行ってもらうというルールです。この出し物で思わぬ告白をされた男子学生も…！3年間の最後に良い思い出となったのではないのでしょうか。次にお揃いのユニフォームでダンスをしたチーム「J I M」。曲はペコリナイトで盛り上がりました！1年生の最後の出し物は、男子学生による★バンド演奏★「贈る言葉」や「あなたに」など5曲を、ギター、ベース、ドラム、ボーカルに分かれてカッコよく弾いてくれました。みんな立ち上がりノリノ

りで、アンコールでは3年生にマイクを回して、もう一度「あなたに」をみんなで歌いました。

2年生最初のグループは、看護学生の「あたりまえ体操」でした。共感できる部分が多々あり、会場が笑いに包まれました。次に谷内先生と西森先生が参加して下さったレディガガのダンス。普段見られない先生達の姿に驚きました！最後に、制作に多くの時間を費やしたという「光のパラパラ動画」。ネオンを使って作り出した48期生一人一人の名前はとても綺麗でした。

先生方からのメッセージは笑いや涙を誘う内容で、1・2年生でも涙ぐんでいる人がいました。メッセージを聞いていると、改めて月日が経つのは早いものだと感じ、私も一日一日を大切に過ごしていこうと思いました。

3年生の皆さん、本当にありがとうございました。

卒業しても学校での日々を忘れず、頑張ってください。



職員の異動

採用 3月1日付

診療放射線技師 新開 千真

定年退職 3月31日付

栄養管理室長 和田 博子
准看護師 新田 広子
准看護師 柏井万喜子
副調理師長 植澤みさ子

退職 3月31日付

放射線科医師 松岡 葵
消化器科医師 藤野 泰輝
婦人科専修医 原田 祐子
呼吸器外科専修医 森下 敦司
消化器科レジデント 岡崎 潤
呼吸器科レジデント 香西 博之
教員 小林 淳子
教員 政平 憲子
臨床検査技師 井上 泰
看護師 掛水 千恵
看護師 小松 咲
看護師 古畑 加詠
助産師 浅野 教子
助産師 菅長由香理
看護師 西森 吏保
看護師 生城 愛子
看護師（臨時的任用） 永谷真紀子
看護師（臨時的任用） 坂本 裕志
看護師（臨時的任用） 藤原 久子
看護師（臨時的任用） 吉野真奈美
看護師（臨時的任用） 福田 文香
看護師（臨時的任用） 竹村 朋子

勤務延長 4月1日付

副院長 小倉 英郎

採用 4月1日付

婦人科医長 滝川 稚也

消化器科医師 三井 康裕
呼吸器科医師 香西 博之
呼吸器外科医師 澤田 徹
消化器科レジデント 影本 開三
呼吸器科レジデント 香川 耕造
呼吸器科医師（非常勤、研修受入）

臨床研修医 門田 直樹
臨床検査技師 二里 志乃
言語聴覚士 安野 智哉
理学療法士 西村 愛美
助産師 津田 泰路
看護師 山本 瑞稀
看護師 永谷真紀子
看護師 坂本 裕志
看護師 藤原 久子
看護師 福田 文香
看護師 吉野真奈美
看護師 橋内 里佳
看護師 山本さおり
看護師 山崎 杏奈
看護師 田上 愛美
看護師 山崎 美枝
看護師 片岡 恵美
看護師 清岡 美月
看護師 澤本 佳子
看護師 北本 栞
看護師 池 有加里
看護師 市川 真由
看護師 大野 美佳
看護師 岡上圭穂子
看護師 岡崎 志保
看護師 川村 友美
看護師 公文亜弥佳
看護師 仙頭 京香
看護師 田村 庄平
看護師 中谷 佳世
看護師 中平 裕希
看護師 福長 朋子
看護師 森岡 梨香
看護師 矢野 苑子
看護師 山岡 佳哉
看護師 山崎 幸子

看護師

看護師

契約係

庶務係

吉永 泰子

山川 円

森 有平

前田 沙帆

教員

教員

副看護師長

副看護師長

副看護師長

副看護師長

副看護師長

副調理師長

安藤 清香

森 佳奈

嶋田 麻美

川原 安代

山口 茜理

和食小百合

井上 佐代

中西 寛

転入 4月1日付

薬剤科長

診療放射線技師長

栄養管理室長

副臨床検査技師長

製剤主任

作業療法士

教育主事

教員

副看護部長

看護師長

看護師長

看護師

看護師

看護師

看護師

看護師

看護師

児童指導員

庶務班長

専門職

契約係長

林 武文

鳩野 直也

柳谷 憲秀

森川 祥史

田中健治郎

川原 実佳

山田 円

飛田 沙知

樋口 智津

秋山 朋江

山内 紀子

笹岡 隆文

川田 未記

川村 成輝

宮畑 香里

道下 佳典

麻田 友子

前田 勝也

長瀧 福太

萬年 繁樹

和田 吉弘

併任 4月1日付

呼吸器センター医長

畠山 暢生

転出 4月1日付

教育主事

副臨床検査技師長

看護師長

看護師長

副看護師長

副看護師長

看護師

看護師

看護師

看護師

看護師

庶務班長

専門職

契約係長

契約係

庶務係

秋本 洋子

岸本 修次

森山 万智

山本 美保

渡部 博代

武吉 純代

楠瀬加奈子

田村 遼子

中内 絹代

田所 里奈

久保田美紀

伊藤 真之

富山 隆

宮地 貴広

谷口 誠

白石 朋子

昇任 4月1日付

看護師長

秋森 容子

健康フェスタ2013開催のご案内

当院では、地域の皆様の健康をサポートするとともに、親しまれる病院づくりを目指して、毎年「健康フェスタ」を開催しています。

第5回目となる今年は、「始めよう！ 地域みんなで健康づくり」をテーマとして開催いたします。皆様のご来場をお待ちしています。

日時 平成25年6月1日(土) 10:00～15:00

場所 高知市朝倉西町1-2-25 国立病院機構高知病院

健康フェスタ2013実行委員会

外来診療担当医表

(平成25年4月12日現在)

■受付時間 8:30～11:00

整形外科 火曜日は予約患者のみの診察になります。
(新患、予約のない方は原則診察できません)

■休診日 土曜・日曜・祝日・12月29日～1月3日



独立行政法人
国立病院機構 **高知病院**

〒780-8077 高知県高知市朝倉西町1丁目2番25号
TEL (088) 844-3111 FAX (088) 843-6385
http://www.hosp.go.jp/~kochihp



診療科	区分・診察室番号	月	火	水	木	金
内科	午前 1 診 ⑫ 特別外来 ⑪	影本 開三 松森(糖尿病)	門田・岡野 岩原(血液)	香川・町田 松森(糖尿病)	中野・三井 岩原(内科)	畠山・香西 松森(糖尿病)
	午後 専門外来					
神経内科		⑰ 不定期(院内案内板に掲示しています。お電話にてお問い合わせ下さい。)				
呼吸器科 アレルギー科	午前 1 診 ⑧ 2 診 ⑥	篠原 勉 大串 文隆 (リウマチ科も診察)	畠山 暢生 大串 文隆	大串 文隆 町田 久典	岡野 義夫 篠原 勉	
	午後 専門外来			禁煙外来 14:00～15:30(予約制)		
消化器科	午前 ⑨	井上・板垣	三井 康裕	板垣 達三	井上 修志	三井 康裕
循環器科	午前 ⑦	山崎 隆志	西村 直己		山崎 隆志	
	午後 専門外来				ペースメーカー(第1木曜)	
リウマチ科		⑩ 松森 昭憲 (糖尿病も診察)	大串 文隆	大串 文隆		松森 昭憲 (糖尿病も診察)
小児科	午前 1 診 ① 2 診 ② 3 診 ③	小倉 英郎 大石 尚文 武市 知己	小倉 英郎 井上 和男	武市 知己 大石 尚文	小倉 英郎 井上 和男	大石 尚文 高橋 芳夫 小倉由紀子
	午後 専門外来	神経・発達障害	アレルギー 特殊予防接種	乳児検診	アレルギー・化学物質過敏症 NICUフォローアップ	神経・発達障害 乳児検診
	午後 予防接種	14:30～15:30 (予約制)	14:30～15:30 (予約制)	14:30～15:30 (予約制)	14:30～15:30 (予約制)	14:30～15:30 (予約制)
外科	午前 ⑤	大塚 敏広	福山 充俊 (乳ガン検診も実施)	山崎 誠司	福山 充俊 (乳ガン検診も実施)	井川 浩一
	午後 専門外来		福山(乳腺外来) 大塚(胃ろう・ヘルニア外来)		日野・福山 乳腺外来	
整形外科	午前 1 診 ① 2 診 ②	篠原 一仁	兼松 次郎	小林 亨	篠原 一仁 (田村 竜也)	林 二三男
脳神経外科	午前 1 診 ⑧ 2 診	中城 登仁	中城 登仁	中城 登仁	中城 登仁	非常勤 10:00～
呼吸器外科	午前 ⑦		日野 弘之		日野 弘之	
小児外科	午前 ⑤					
皮膚科	午前 ⑬	三好 研	三好 研	三好 研	三好 研	三好 研
泌尿器科	午前 ⑨	渡邊 裕修	笠原高太郎	渡邊(奇数週) 久野(偶数週)	笠原高太郎	渡邊 裕修
産科	午前 ⑳	滝川 稚也	福家 義雄	福家 義雄	小林 文子	
	午後					
婦人科	午前 ㉑	福家 義雄		小林 文子	滝川 稚也	当番医
眼科	午前 ㉒	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子	戸田 祐子
耳鼻咽喉科	午前 ⑰	近藤・中野	近藤・中野	近藤・中野	近藤・中野	近藤・中野
	午後 専門外来		14:00～(予約制) 嚥下・睡眠時無呼吸外来			
リハビリテーション科						
放射線科		小松 幸久	塩田 博文	小松 幸久	塩田 博文	小松 幸久

※内科の1診は、月曜日から金曜日まで全て、医師1名担当の交代制となっています。
※市町村発行のクーポン券を利用される乳ガン検診は、平日の午前中外科外来にて行っています。